

「寺田屋等ツアーガイド」 (2018. 5. 21)

坂野 登

皆さんが下車した「中書島駅」は、名前の通り昔は島でした。安土桃山時代、豊臣秀吉が晩年の居城とした伏見城の近くにあることから、当時は武家屋敷でしたが、江戸時代は遊郭として繁栄しました。一方で高瀬川が開削されて京都と大阪が結ばれ、その河口としての役割をもつようになりました。しかし昭和33年の売春防止法によって、遊郭としての役割がなくなり、徐々に衰退していき、現在わずかながら当時の建物が残されているだけで殺風景ですが、寺田屋へと向かう道は現在、スナックの名残が多く立ち並んでいます。

○ 寺田屋事件

寺田屋にまつわる事件は、寺田屋騒動として知られる「薩摩藩志士肅清事件」と、「坂本竜馬襲撃事件」の2つあります。1862年5月21日の寺田屋騒動は薩摩藩主島津久光が薩摩藩尊皇派を始末した事件で、この事件によって久光に対する朝廷の信望は大いに高まります。龍馬と隆盛との関係については、NHKドラマ「西郷どん」も参考になるでしょう。

1866年3月9日の**坂本龍馬襲撃事件**とは、京での薩長同盟の会談を斡旋した直後に、竜馬は薩摩人として宿泊していましたが、彼を伏見奉行の捕り方が捕縛あるいは暗殺しようとした事件です。龍馬はけがをしますが妻のお龍の機転によって難を逃れることができ西郷隆盛らに救われました。現在の寺田屋は隣に再建されたものです。龍馬が暗殺されたのは2年近く後の、1867年12月10日京都河原町近江屋で、江戸幕府京都見回り組によるものといわれていますが、新撰組犯行説もあります。

○ 月桂冠大倉記念館

伏見は安土桃山時代から酒造りの街として栄えています。その技と日本酒の歴史と文化を感じる空間です。酒造りや日本酒の歴史をわかりやすく紹介していて、昔の酒造用具を行程に従ってみるすることができます。寺田屋や大倉記念館の横を流れる川は宇治川の支流で、江戸時代をしのばせる三〇石船や一〇石船を楽しむこともできます。また川に沿って酒蔵が多く立ち並んでいます。**坂本龍馬襲撃事件**の折、竜馬はこの川を船で脱出したのでした。

○ 京阪電車中書島駅から祇園四条駅まで約15分

時間が許せば、各駅停車の方がよいと思います。祇園四条に向かう途中、近年外国人の参拝が多い、赤い鳥居で有名な伏見稲荷神社の伏見稲荷駅、そして幕府軍が政府軍に敗れ、明治維新へと転換するきっかけとなった「鳥羽伏見の戦い」の跡近くの鳥羽街道駅、紅葉で有名な東福寺駅の諸駅を經由し祇園四条駅下車、四条大橋を渡り、鴨川の川床や鴨川岸の風景を眺め、次に阪急電車でアークホテルへと移動します。皆さんお疲れ様でした。